

[バックナンバーを探す](#)[紙面ビューアー](#)

2026年6月24日号 16面 掲載

2代目理事長が経営改革「勝ち残る」社福へ 真誠会

介護

2026年6月30日

鳥取県米子市を拠点とする医療法人・社会福祉法人真誠会は、2代目の前田浩寿理事長のもとで経営改革を進めている。前田理事長は、2002年の入職当時に債務超過だった法人を立て直し、現在は「今日から、5年で3倍」をキーワードに、31年の事業収入額189億円を目指し事業拡大を図っている。介護業界が変革期にある中、持続可能な福祉経営を目指す前田理事長に、法人経営の考え方について聞いた。



医療法人・社会福祉法人真誠会
前田浩寿理事長

——理事長就任の経緯について教えてください

前田 私はもともと造船会社で為替の仕事をしており、海外で働くことを望んでいました。しかし、妻の実家である法人が債務超過に陥っていることを知り、手伝いを頼まれたのがき

投資がなければ法人の今はなかったと思いますが、当時は大変でした。

職員教育への投資を強化 断らない体制で稼働向上

——どのように経営改革を進めましたか

前田 まず「一緒に学び、仲間を作ること」から始めました。責任者クラスの職員と共に、経営やサービスについて深く学びました。理事長就任後は研修費を重視し、年間約6500万円を投資しています。資格取得支援だけでなく、全国の優れた法人の取り組みを学ぶため、一度に5人ほどで視察に行かせることもあります。まずは良い事例を模倣することから着手しました。



法人の中核拠点「真誠会セントラルクリニック」

——改革によってどのような変化がありましたか

前田 職員のマインドが大きく変わりました。特に「困っている人がいたら絶対に断らない」という行動指針が浸透したことで、特別養護老人ホームのショートステイの稼働率は、債務超過であったときは15%程度でしたが、現在は100%を超えるまでに改善しました。

いうサービス調整部門を設け、ソーシャルワーカーやケアマネジャーが事業所内外のサービスをつないでいます。「ここに相談すれば、必ず何らかの支援につながる」という信頼を築いています。

――今後の目標として事業規模を「今日から、5年で3倍」にしています

前田 私の時代は「勝ち残る」ことを目指しています。2年前にグループ全体の売上が45億円だった時、「5年で3倍の135億円を目指す」と宣言しました。その後M&Aなどを経て、現在の目標は「5年で189億円」です。目標は常に現在地から更新しています。この「3倍」という数字には、先代を超えるという思いと、万が一経営がうまくいかなくとも職員の雇用を守る規模を確保する、という思いを込めています。

M&Aで事業規模拡大へ 新サービスの開発も推進

――目標達成に向けた具体的な戦略は

前田 M&Aも積極的に活用します。今年3月には、後継者不在だった透析クリニックと認知症グループホームを事業継承しました。今後は障害福祉分野にも本格的に参入し、給食工場と連携した就労継続支援B型事業所の開設も検討しています。

また、人材確保の一環として、沖縄の法人のM&Aも考えています。米子で働きながら、半年間沖縄で仕事ができるといった魅力的な環境を提供する狙いがあります。職員には、米子にいながらも国内はもとより、世界とつながる機会を創出したいと考えています。

――韓国製の歩行サポート機器「夢歩」の導入もその一環でしょうか

前田 以前、競合する法人が「レッドコード」を導入した際、当法人には余力が無く投資ができず、導入の機会を逃した経験があります。いつかは、周囲が驚くような機器を導入したいと考えており、韓国で「夢歩」を見つけ、6月に導入しました。

これは天井レールに取り付けたハーネスで体を支え、利用者が自分のペースで歩行できるようにするものです。両手が自由になり、体が支えられているため、キャッチボールのような運動も安全に行えます。この機器は利用者の「歩きたい」という意欲向上に非常に有効です。

てる法人を目指しています。



歩行サポート機器「夢歩」。天井レールに設置されたハンガー部分にハーネスを取り付ける



「夢歩」の稼働開始を記念したセレモニーの様子

——経営において最も大切にされていることは何ですか

から刺激を受け、利用者に喜んでもらえる方法を常に考えてほしいと願っています。

旅行やペット事業などの保険外サービスも含め、法人全体のサービスを向上させていきたいです。

法人概要

所在地 ● 鳥取県米子市
 事業収入額 ● 63億円(2026年5月)
 職員数 ● 780名
 運営施設 ● クリニック1カ所、老健2カ所、特養2カ所(地密含む)、GH3カ所、通所介護(リハビリ・認知症対応含む)10カ所、小多機・看多機3カ所 ほか

関連ページ



マルチ人材が活躍 地域づくりに関与 社会福祉法人ひだまり

社会福祉法人ひだまりは、滋賀県米原市で高齢者福祉および障害者福祉事業を展開している。2003年、1件の宅児・宅老所からスタートした同法人は、地域のニーズや将来の人口動態を見据えて、高齢者福祉にとど...

関連ページ



DXで科学的自立支援介護推進 社会福祉法人ふるさと

介護DXで自立支援 脱属人化、数字が共通言語に 社会福祉法人ふるさと(長崎県西海市)は、人口減少と高齢化が進行する厳しい環境下で、「科学的自立支援介護」と「介護DX」を両輪とした組織改革を絶え...

関連ページ



【トップインタビュー】ハートケア 山本朝香社長/排泄DXで現場変革 `定期、対応から `必要時、対応へ

大阪・京都で16施設を運営するハートケア(大阪市)は、2025年8月に立ち上げた子会社「ハートテック」より、排泄センサー「ハートキウムスマートおむつシステム」を6月に販売予定。定時で巡回するお...

